

# NEC 東北の環境管理活動

## Environmental Activity of NEC Tohoku

### 第二回（2003年）NEC環境大賞準大賞受賞

#### NEC 東北

NEC Tohoku, Ltd.

### NEC 東北の取り組み概要

NEC東北では、「環境大賞挑戦」を合言葉に、全従業員参加の環境管理活動を展開しました。環境大賞を従業員の環境意識高揚のトリガーとして、全社展開している「生産革新」活動と結びつけ、さらに生産革新の削減目標を環境管理のチャレンジ目標と結び付け、生産革新＝環境負荷低減の活動として、推進しました。

At NEC Tohoku with “Challenge for the environment grand prize,” the environment control activities of all the employee participations were promoted.

The environment grand prize is the trigger of the environment consciousness exaltation of employees. Also we promoted environment load reduction as a part of the production innovation which we promoted companywide.

### 1. 取り組みの特徴

NEC東北の環境管理活動は、環境目標を別枠で設定することなく、すでに全社展開している「生産革新」活動と結び付け、生産革新＝環境負荷低減との認識により、環境管理活動を全従業員参加の活動としたところに大きな特徴があります。

もう1つの特徴としては、活動を強力に推進すべく、全社キックオフを行い「環境大賞」挑戦を全社方針とし、強力なトップダウンにより全従業員に周知・徹底した推進活動であるところにあります(図)。

### 2. 具体的な活動内容

「環境大賞」挑戦を全社活動とするため、全社キックオフを行うとともに、8項目のチャレンジ目標を設定し、各部門より推進責任者を選出し、チャレンジ目標に対する進捗状況を確認、フォローを実施しました。

進捗確認には、環境担当取締役が自ら当たり、部門の推進責任者を部長代理、マネージャークラスとすることにより、強力に推進することができました。

具体的なチャレンジ目標は、内製化促進＝省エネルギーの推進、臨時便削減＝CO<sub>2</sub>排出量削減、かんばん化推進＝廃棄物削減などと「革新目標」を「環境目標」に読み替え、チャレンジ目標を設定しました。日常業務の目標値を、環境という切り口で読み替えることにより、環境管理活動をより身近なものとしてとらえることができました。



図 環境大賞挑戦ポスター

Fig. Poster of “Challenging Environmental Report Awards”.



写真 業界初の鉛フリー製品 X4000 シリーズ  
Photo The first Pb-free product in the industry “ X4000 Series ”.

以下に8項目のチャレンジ目標のうち、3件の活動事例について紹介します。

### 2.1 鉛フリー化の推進

鉛フリーについては、NECより鉛フリーはんだモデル工場に指定され、NEC内においても主導的立場で推進しました。チャレンジ目標としては、2002年度新規設計品100%鉛フリー化と設定しました。

その結果、NEC東北での鉛フリー化は基より、他NEC生産分身、協力工場への技術供与など、汎用製品にはない長期信頼性の難しい壁を突破し、業界初のオール鉛フリーの製品をリリースすることができました(写真)。また、モデル工場に指定され、NEC生産分身でのリーダー的活動推進により、チャレンジ目標を達成することができました。

### 2.2 臨時便削減によるCO<sub>2</sub>排出量削減

生産革新活動による臨時便削減活動では、チャレンジ目標を、前年比26%削減(608台削減)に設定しました。物流業務委託先であるNECL(NECロジスティクス)の協力を受け、Webを活用し、積載状況を掲示した①運行管理版の情報公開、②海外向け製品の分割輸送、③定期便を意識した生産、などの活動成果により目標を大きく上回る36%削減(786台減)となりました。この結果、CO<sub>2</sub>で167CO<sub>2</sub>\_t/年間、金額で4,000万/年間もの効果を挙げることができました。

### 2.3 かんばん化による廃棄物削減

生産革新活動によりかんばん化は、通いトレ化することによる梱包材の削減をチャレンジ目標に掲げ、目標値を50%削減と設定しました。組立工場であるNEC東北にとって産業廃棄物の約80%を梱包材が占めており、通いトレ化は大きな廃棄物削減となります。

削減施策としては、①部品・半製品のリールのリユース、②メーカーとの通いトレ化、③NECグループ内通いトレ化、を推進しました。しかし、削減目標の50%削減は未達となり、今後の課題として残りましたが、現在も環境管理年度計画に取り上げ、目標達成に向け、活動を推進しているところです。